



〒722-1701  
広島県世羅郡世羅町小国4648  
TEL&FAX (0847)37-2153

E-Mail [farm-01@yamamoto-family.jp](mailto:farm-01@yamamoto-family.jp)  
URL <http://www.yamamoto-family.jp/>

## 梅の花が咲いて、 モンシロチョウが飛び始めました

3月末になって、あちこちで桜の便りが聞かれる頃、畑では、梅の花が満開になりました。菜の花を収穫していると、ふらふらと飛ぶモンシロチョウが、一匹。ひらひらと舞う姿は、春の訪れを感じさせますが、それは虫たちが動き始めた証拠。世羅の畑にも遅い春がやって来ました。

5月になって、レタスやコールラビ、冬越しのスナックエンドウ、早生のタマネギなどが採れるようになる頃まで、4月も野菜の少ない時期が続きます。

4月は、ハウスの中にズッキーニの苗を植え、トマトやナス、ピーマン、キュウリなどの種をまいて、苗を作ります。露地の畑では、人参やゴボウの種をまきます。

(N.Y.)



キャベツは、虫除けのネットの中で大きくなります。

### 毎週、 種まきをしています



ハウレン草やコマツナ、レタス、キャベツ、コールラビ、ブロッコリーなどの苗を、大きくなったものから順に、露地の畑に定植しています。

まだ霜が降りることがあるので、トンネルやネットをかけています。

### イノシシと鹿除けの 柵を作っています



4枚ある畑のうち、2枚の畑は柵で囲ってありますが、今年は、残り2枚のうちの1枚を囲う作業をしています。

春休み中の子どもたちが、力仕事を手伝いに帰って来てくれて、Tonchanは大助かり！

### [4月の野菜]

□露地の畑には、ネギ、間引き大根、ワケギ、アサツキ、菜の花など。ニラや葉タマネギ、タラの芽やワラビなどが、採れるようになってくる予定です。

□ハウスの中には、ラディッシュ、ハウレン草、カブ菜、フダン草など。

\*ハウスの中の野菜には、虫のついてるものが出てきています。よく洗ってから使ってください。

## TonchanのQ&A ~ 野菜の不思議 ~

Q. キャベツにモンシロチョウが集まるのはどうしてですか？

キャベツ畑には、たくさんのチョウが集まっていますが、そのほとんどは、モンシロチョウです。チョウの幼虫は種類によって食べる草(食草)が違って、モンシロチョウ属は、キャベツ、大根、わさびなどアブラナ科の植物を食草にしています。アブラナ科植物には、防虫、殺菌効果のあるからし油配糖体が含まれているのですが、モンシロチョウ属は、このからし油配糖体に対する解毒作用を獲得しています。他の虫が育ちにくい環境で、思う存分えさのキャベツを食べて繁殖することができるので、キャベツ畑にモンシロチョウが飛び交うことになります。

Q. モンシロチョウは、どうやって多くの植物の中から、キャベツを見つけるのですか？

一般的にチョウの幼虫は、狭食性のものが多く、メスが正確に植物を識別して産卵しないと、幼虫は育つことが出来ません。そこでチョウは、まず主に視覚情報を頼りに葉にとまり、葉を前脚でたたく、ドラミング行動をします。この時、前脚先端部の「ふ節」にある「化学感覚毛」という器官で、葉の表面に存在する化合物を感じ取って植物種を識別し、適切と判断すると卵を産むそうです。モンシロチョウは、アブラナ科植物に含まれる「からし油配糖体」を感じて産卵するので、キャベツに限らず白菜や小松菜、チンゲン菜など多くのアブラナ科の野菜に卵を産みます。



[3月の畑] 畑に残っている白菜やホウレン草、水菜などにはビヨドリ除けのネットをかけています。ゴボウの後を耕してうね立てをしました。ここには、ジャガイモやキャベツ、小松菜、レタスなどを植えていきます。

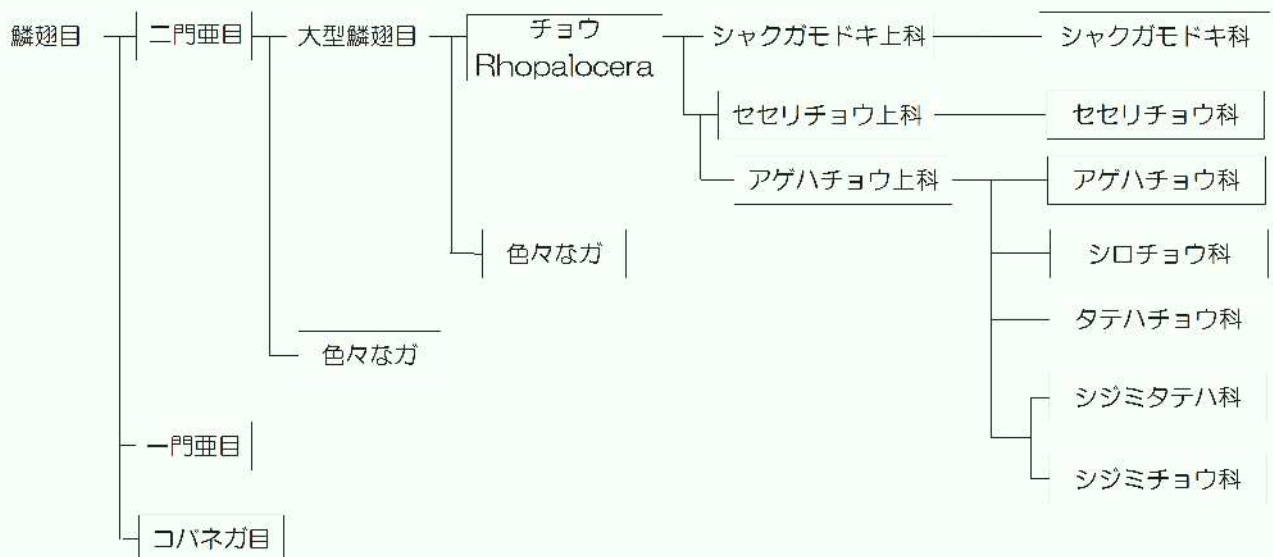
## チョウとガの違いってなんだろう

チョウの産卵や食草について調べていたら、チョウとガってどう違うのだろうという疑問がわいてきたので、少し調べてみました。

チョウは、昆虫綱鱗翅目(チョウ目やガ目とも言う)のうち、Rhopalocera(チョウ類)に分類される生物の総称です。鱗翅目の21上科のうち、アゲハチョウ上科、セセリチョウ上科、シャクガモドキ上科の3上科が、Rhopaloceraに分類されていて、チョウということになります。その他の鱗翅目の種が、ガと呼ばれています。

チョウは鱗翅目の系統の中でかなり深いところにある派生的な系統で、それに対しガは「チョウでない」としか定義できない側系統であり、チョウ目をチョウとガに分けるのは自然な分類ではありません。

系統樹で書くと下のようになります。この図では、チョウの部分だけ詳細に書きましたが、実際はガの部分がかかなり大きいです。鱗翅目に属する種の数は、日本だけでも5000種類以上が知られていますが、その中でチョウは約250種類です。



一般的にチョウとガの区別は、以下のように言われています。

- ① チョウは美しいが、ガは汚い。
- ② チョウは昼間に活動するが、ガは夜に活動する。
- ③ チョウは羽を立てて止まるが、ガは羽を広げて止まる。
- ④ チョウの幼虫はイモムシだが、ガの幼虫は毛虫である。
- ⑤ チョウの触角はこん棒状である。

しかし、それぞれに例外も多く、明確に区別できないそうです。

結局のところ、チョウとガは同じ仲間なので、区別することは難しいようです。